



2019年10月4日

SOMPO未来研究所株式会社

「SOMPO未来研レポート」最新号の発刊

SOMPO未来研究所株式会社（取締役社長：川添 久彰、以下「当研究所」）は、この度「SOMPO未来研レポート」の最新号（Vol. 75）を発刊しましたので、お知らせします。

1. 最新号のテーマ

- (1) ビジネス・エコシステムとは何か
- (2) 電動マイクロモビリティブームとドイツにおける受容
～電動キックボードを中心に～
- (3) 中所得国の医療保障改革、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの道のり
～増大する医療費と格差の是正、中国・インドを中心に～
- (4) 米国のオピオイド危機と損害保険業界への影響
- (5) 途上国におけるインクルーシブインシュアランスの動向
- (6) 米国損害保険市場の動向（2018年実績）

※各テーマの概要は別紙を参照ください。

2. 「SOMPO未来研レポート」とは

- ・当研究所では、欧米を中心とする海外の損害保険、医療保険市場の動向、ヘルスケア、テクノロジーおよびマクロ経済の動向を中心に調査しています。本レポートは、1992年から発刊している当研究所の機関紙であり、当研究所の調査分野に関する論文を掲載しています。現在は年2回（4月、10月）発刊しており、通巻75号となります。
- ・なお、当研究所は2019年4月1日に「SOMPO未来研究所株式会社」に社名変更しました。これに伴い、本レポートの名称を「SOMPO未来研レポート」に改めました。

3. その他

- ・SOMPO未来研レポートの掲載論文（バックナンバーを含みます。）は、当研究所WEBサイトにPDFファイルで掲載しています。
 - ・また、その他のレポート、アメリカ損害保険事情等についても掲載していますので、併せてご利用ください。
- （当研究所ホームページ） <http://www.sompo-ri.co.jp/issue/>

以上

お問い合わせ先

SOMPO未来研究所株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル

TEL:03(3349)5175 Email:webmaster@sompo-ri.co.jp

(1) ビジネス・エコシステムとは何か

エコシステム（生態系）という言葉がビジネス界で良く使われています。使い手がこのたった一言に込めたメッセージを読み解くためには「オープンイノベーション」、「プラットフォーム」、「ソリューション」、「補完財」といった周辺知識を押さえる必要があります。これらを概観しながら、最大の課題である「エコシステムをどう築くか」に迫っていきます。

(2) 電動マイクロモビリティブームとドイツにおける受容

～電動キックボードを中心に～

玩具だったはずの一輪車などの乗り物が電動化され、センサー等のテクノロジーを搭載したことで人々の快適な移動手段に変貌しつつあります。このブームを特に牽引するのが電動キックボードのシェアリングサービスです。

本稿では、まず電動マイクロモビリティの興りからブームに至るまでの経緯をまとめ、後段ではドイツに焦点を絞って普及状況や規制動向等をまとめました。ファースト・ラストマイルの新たな移動の選択肢と目される電動マイクロモビリティの活用可能性を探ります。

(3) 中所得国の医療保障改革、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの道のり

～増大する医療費と格差の是正、中国・インドを中心に～

世界的に医療費が増加しており対処が求められています。特に経済成長が目覚ましい中所得国では、後回しになってしまった医療保障を拡充し、医療費の自己負担を減らすことが求められています。事前にファンドを蓄積し、医療保障を通じ医療費支出に対するリスクプールを形成し、経済的なリスクから家計を保護していく必要があります。中所得国の中でも2大新興国である中国とインドを取り上げ、医療保障のカバー範囲を拡大しユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向けて進む道のりをたどります。

(4) 米国のオピオイド危機と損害保険業界への影響

米国ではオピオイド系鎮痛薬の乱用による依存症の蔓延と死亡者の急増が深刻な社会問題となっています。州・郡・市政府はこの問題の元凶だとして製薬会社等を相手に多数の訴訟を起こしています。訴訟の増加は賠償責任保険の保険金請求の増加につながるため損害保険会社に少なからず影響を及ぼします。保険の適用をめぐる被保険者と保険会社間の訴訟も起きています。米国リスクを引き受ける日本の保険会社も訴訟の動向や保険適用をめぐる議論を注視する必要があります。

(5) 途上国におけるインクルーシブインシュアランスの動向

インクルーシブインシュアランスは、途上国等の従来型の保険が十分に提供されていない市場で普及が進んでいる新たな保険です。途上国においては、モバイルテクノロジーの進展を原動力に、従来は金融サービスを利用できなかった人々の金融サービス利用が進むことで、経済活動が促進され、そのような人々の経済的に不安定な状況が改善されています。本稿では、その動向に迫っていきます。

(6) 米国損害保険市場の動向（2018年実績）

米国損害保険市場は2007年以降ソフトマーケット環境が続いていましたが、2017年および2018年に相次いで米国を襲った大規模な自然災害の影響により2018年にマーケットはハード化の兆しを見せました。個人自動車保険では医療費や修理コスト（高性能車）の増加を受けてレートを引き上げ、徐々に成果が表れています。その結果、2018年の損害保険会社の保険引受利益は2015年以来のプラスとなりました。